

令和3年度 学校評価

～具体的取組ごとの評価指標と目標値による評価～

評価方法

各重点取組分野ごとに、具体的取組の評価指数が目標を達成している項目により、次のような評価をする。


目標を達成している項目数	評価
90%以上が達成している	A
半数以上が達成している	B
達成したのは半数未満である	C

凡例

【90%以上】 目標値

赤字 目標を達成

 昨年度より
良くなった

 単位がない データがない
又は未実施

令和4年1月
横浜市立今宿小学校

重点取組分野1 生きてはたらく知(知)

(1)主体的に学ぶ姿勢を育てるために授業研究会や少人数指導を実施する。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	1	授業では、自分の考えを発表していますか。 「よくしている」「どちらかといえばよくしている」の割合の合計【70%以上=市の目標値】	今宿小	63	75	78
			横浜市	62		
	2	学校の授業は、分かりやすいですか。 「よく分かる」「だいたい分かる」の割合の合計【80%以上=市の目標値】	今宿小	78	93	95
			横浜市	76		
3	今年度に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいたと思いますか。(全) 【80%以上=市の目標値】	今宿小	72.3	88	85	
		全国	77.7			
4	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。(全)「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【60%以上】	今宿小	72.7	90	86	
		全国	74.1			
職員	5	主体的に学ぶ姿勢を育てようと授業改善に取り組んだ。 「積極的に取り組んだ」「取り組んだ」の割合【90%以上】		96	97	97
学校	6	少人数指導を実施する		実施	実施	実施
	7	授業研究を実施する		実施	実施	実施

(2)朝学習・朝読書、家庭学習(課題と自主学習)を活用し主体的に学ぶ姿勢と基礎学力の定着を図る。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	8	学校図書館に行くことが好きですか。 「好き」「どちらかといえば好き」の割合の合計【80%以上】	今宿小	86	90	87
			横浜市	82		
	9	1日にどのくらい読書しますか。 「30分以上」の割合の合計【60%以上】	今宿小	45	59	52
			横浜市	48		
	10	家では、1日どのくらい勉強をしていますか。 基準時間以上勉強している割合【70%以上=市の目標値】	R元年度	49	47	50
	1年生(30分以上)	今宿小	74	79	68	
		横浜市	68			
	2年生(30分以上)	今宿小	66	64	75	
		横浜市	68			
	3年生(45分以上)	今宿小	33	41	49	
		横浜市	50			
	4年生(45分以上)	今宿小	54	32	38	
		横浜市	55			
5年生(60分以上)	今宿小	30	35	33		
	横浜市	42				
6年生(60分以上)	今宿小	35	28	36		
	横浜市	42				
職員	11	朝学習・朝読書、家庭学習を活用して主体的に学ぶ姿勢と基礎学力の定着に取り組んだ。「積極的に取り組んだ」「取り組んだ」の割合【90%以上】	79	97	100	
学校	12	図書室の年間貸し出し冊数【10,000冊以上】	10,263	13,660	15,732 2022/2/7	

(3)教科領域の研修等を実施する。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	13	教科領域の研修に取り組んだ。 「積極的に取り組んだ」「取り組んだ」の割合【90%以上】		86	90
学校	14	教科領域の組織による研修を実施する。		新規	実施

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
A:90%以上達成している(13~14)		11/14	12/14
B:半数以上が達成している(8~12)		B	B
C:達成したのは半数未満である(0~7)			

重点取組分野2 豊かな心(徳)

(1)「道徳の時間」の充実と社会的スキルプログラムの実践に取り組む。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	1	友達や家族との約束を守っていますか。 「守っている」「どちらかといえば守っている」の割合の合計 【90%以上】	今宿小	92	95	94
		横浜市	93			
	2	自分にはよいところがあると思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計 【84%以上=市の目標値】	今宿小	79	78	77
		横浜市	79			
	3	自分のことが好きだと思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計 【70%以上】	今宿小	69	70	69
		横浜市	73			
職員	4	「道徳の時間」のカリキュラムの改善に取り組む。	64	93	96	
	5	社会的スキルプログラムを実施する。【3つ以上】	73	90	88	

(2)ペア学年活動、児童会活動で絆を深める活動を実施する。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	6	あいさつを自分からしていますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計 【90%以上】	今宿小	85	91	87
		横浜市	86			
	7	話したり聞いたりして人と関わることが好きですか。 「好き」「どちらかといえば好き」の割合の合計 【90%以上】	今宿小	90	93	91
		横浜市	90			
職員	8	ふれあい活動(異学年交流)に取り組んだ。	100	76	83	
	9	あいさつするように指導した。	92	100	97	
学校	10	ふれあい活動、あいさつ運動を継続する。	継続	継続	継続	

(3)人権研修を行うとともに人権教育に根差した授業を行う。また、様々な立場を理解する授業を行う。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	11	人の気持ちを考えて行動するようにしていますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計 【90%以上】	今宿小	90	92	90
		横浜市	91			
職員	12	人権研修に取り組み、人権教育に根差した授業を行った。また、多様性を尊重する授業を行った。	100	97	94	
学校	13	児童に人権集会や人権週間などで人権について考える活動をする。	実施	実施	実施	
	14	職員人権研修を実施する。【1回以上】	実施	実施	実施	

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	9/14	12/14	9/14
A:90%以上達成している(13~14)			
B:半数以上が達成している(7~12)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~6)			

重点取組分野3 健やかな体(体)

(1)体力の状況を把握し、自ら運動習慣を改善しようとする態度を育て、運動時間の増加に取り組む。

			R元年度	R2年度	R3年度
児童	1	1日にどのくらい運動していますか。(体育の時間は入れません)「30分以上」の割合の合計【80%以上】	今宿小 68	77	76
		横浜市	72		
職員	2	体育授業や保健学習を生かして、児童が運動習慣を見直し改善するように指導した。【90%以上】	79	86	94
学校	3	自分の体力を把握できるように体力テストを実施する。	実施		実施

(2)健康状態を把握し、自らの健康・安全を図ろうとする態度を育て、よい生活習慣の定着に取り組む。

			R元年度	R2年度	R3年度
児童	4	1日にどのくらいねていますか。【8時間以上】の割合の合計【80%以上】	今宿小 81	79	77
		横浜市	78		
	5	1日に携帯電話やスマホを操作してインターネットやメール、SNSをどれくらいしていますか。【30分以上】の割合の合計【横浜市の平均以下】	今宿小 47	50	53
		横浜市	45		
	6	食事の前には手洗いに取り組みましたか。		91	94
職員	7	学校保健委員会のテーマに自分なりの立場から取り組んだ。【教員90%以上が「はい」】	歯みがき 91	手洗い 97	手洗い 100
学校	8	学校保健委員会に取り組む。	実施	実施	実施
	9	「保健だより」を発行し学校の保健状況を知らせるとともに啓発を図る。	実施	実施	実施

(3)栄養職員や食育係とともに、非喫食率の改善や栄養・バランス等の授業実践に取り組む。

			R元年度	R2年度	R3年度
児童	10	朝食を毎日食べていますか。【必ず食べる】「だいたい食べる」の割合の合計【90%以上】	今宿小 92	94	94
		横浜市	96		
	11	朝食を毎日食べていますか。【まったく、またはほとんど食べない】の割合の合計【3%未満=市の目標値】	今宿小 2	2	1.7
横浜市		1			
職員	12	給食や授業などで食に関する指導に取り組んだ。【80%以上】		86	91
学校	13	栄養職員による食の指導を実施する。	実施	実施	実施
	14	「給食だより」を発行し給食について知らせるとともに食育啓発を図る。	実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	9/14	9/14	11/14
A:90%以上達成している(13~14)			
B:半数以上が達成している(7~12)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~6)			

重点取組分野4 キャリア教育(公)

(1)効果的な自分づくりパスポートを作成し、自らできることを考え行動する力を育てる。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	1	一生けんめい取り組んでいることがありますか。 「ある」「どちらかといえばある」の割合の合計【90%以上】	今宿小	92	95	94
			横浜市	92		
	2	ものごとを最後までやりとげうれしかったことはありますか。 「ある」「どちらかといえばある」の割合の合計【90%以上】	今宿小	91	94	95
			横浜市	93		
職員	3	自らできることを考え行動する力を付けるために、係活動、当番活動、委員会活動、実行委員会活動など指導し、自分づくりパスポートを活用した。	96	93	95	
学校	4	自分づくりパスポートを作成し、活用する。		新規	実施	

(2)地域と連携した学習を通して、地域貢献・社会参画する力を育てる授業を行う。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	5	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。(全) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計【55%以上=市の目標値】	今宿小	61	75	74
			全国	55		
	6	まちの行事に参加していますか。 「している」「どちらかといえばしている」の割合の合計【70%以上】	今宿小	65		
			横浜市	66		
職員	7	地域貢献や社会参画することについて考えるような、地域、まちと連携した学習を実施した。【70%以上】	63	55	50	
学校	8	「横浜子ども会議」に参加し、「誰にとっても居心地のよい学校づくり」を全校で考え、できることを考えて実践する。	(実施)	(実施)	実施	

(3)SDGsを意識して学習をまとめ、夢をもち人の役に立とうとする授業を行う。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	9	将来の夢や目標を持っていますか。(全) 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計【80%以上】	今宿小	86	88	90
			横浜市	85		
	10	誰かの役に立つ人になりたいと思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	93	91	94
			横浜市	94		
職員	11	SDGsを意識して学習をまとめ、夢をもち人の役に立とうとする授業を行った。【70%以上】	88	72	67	
学校	12	外部講師を招いて人権や福祉など様々な授業を実施する。	(実施)	(実施)	実施	
	13	SDGsを学習して考えたことを文章に表し、「国際平和スピーチコンテスト」に参加して旭区小学校に発表する。			新規	
	14	実行委員や係を決めるときに、プロジェクト型の経験を積めるような進め方をする。			新規	

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	7/9	7/8	12/14
A:90%以上達成している(13~14)			
B:半数以上が達成している(7~12)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~6)			

重点取組分野5 国際教育(開)

(1)外国語活動、外国語授業の授業改善に取り組むとともに、職員研修を実施する。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	1	外国のことをもっと知りたい、日本のことをもっと伝えたいと思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【80%以上】	今宿小	78	83	79
		横浜市	81			
	2	外国人の先生や友だちと英語でコミュニケーションをとることは楽しいですか。「楽しい」「どちらかといえば楽しい」の割合の合計【90%以上】	今宿小	81	88	90
		横浜市	85			
職員	3	外国語活動、外国語授業の授業改善に取り組むとともに、職員研修に取り組んだ。【90%以上】	83	79	68	
学校	4	学年に応じて日本や外国の文化に触れ、国際協力や国際社会について考え多様性を認める素地を養う。	国際理解教室,YICAを実施	国際理解教室,YICAを実施	国際理解教室,YICAを実施	
	5	外国語活動・外国語学習の研修を実施する。			実施	

(2)SDGsを意識して学習をまとめ、暮らしをよりよくしようと、世界に目を向けようとする授業を行う。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	6	外国人の先生が話していることは、どのていど分かりますか。 「よく分かる」「どちらかといえばよく分かる」の割合の合計【70%以上】	今宿小	69	78	69
		横浜市	75			
職員	7	SDGsを意識して学習をまとめ、暮らしをよりよくしようと、世界に目を向けようとする授業を行った。【69%以上】	83	48	55	
学校	8	SDGs関連の書籍を図書室に用意する。			実施	

(3)プログラミング教育、オリンピック・パラリンピック教育の授業実践に取り組む。

			R元年度	R2年度	R3年度	
児童	9	横浜の時間で学ぶことが好きですか。 「好き」「どちらかといえば好き」の割合【80%以上】	今宿小	86	92	93
		横浜市	87			
職員	10	プログラミング教育、オリンピック・パラリンピック教育の授業実践に取り組んだ。【70%以上】		48	83	
学校	11	外部機関と連携したプログラミング学習を実施する。		(実施)	実施	
	12	フラワーレーンプロジェクト(オリンピック・パラリンピック教育)に取り組む。			実施	

※(実施)は昨年度は評価項目に入っていない

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	4/7	4/8	8/12
A:90%以上達成している(11~12)			
B:半数以上が達成している(6~10)	B	B	B
C:達成したのは半数未満である(0~5)			

重点取組分野6 児童理解・指導

(1)「今宿スタンダード」をもとに、朝会等も活用して統一した指導をし、問題行動の防止に努める。

		R元年度	R2年度	R3年度		
児童	1	学校の決まりを守っていますか。「守っている」「どちらかといえば守っている」の割合の合計【90%以上】	今宿小	93	98	94
		横浜市	92			
	2	学校は安心できる場所だと思いますか。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小	83	91	91
		横浜市	85			
職員	3	「今宿スタンダード」をもとに、学校の決まりについて統一した指導をし、問題行動の未然防止に取り組んだ。【90%以上】	100	100	94	
学校	4	「今宿スタンダード」の共通理解を図る。【年度初めに実施】	実施	実施	実施	
	5	朝会や学年集会、学級などで、学校の決まりについて指導する。	実施	実施	実施	

(2)診断やYPアセスメント等を活用し、児童の実態に応じた指導を行う。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	6	診断やYPアセスメント等を活用して個別の指導計画を作成し、児童の実態に応じた指導を行った。【90%以上】		93	100
学校	7	教育相談の結果を踏まえた指導をする。	実施	実施	実施
	8	YPアセスメントを実施する。【年1回以上】	実施	実施	実施

(3)機関や家庭と連携を図り、児童を中心に据えた指導や特別支援教育を行う。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	9	関係機関や家庭と連携して支援計画を作成し、児童を中心に据えた特別支援教育(UD)の授業を行った。【90%以上】		86	96
学校	10	療育センターや特別支援学校のセンター的機能を活用したコンサルテーションを実施する。【年3回以上】	実施	実施	実施
	11	対象児童の個別の指導計画を作成する。【作成100%】	作成	作成	作成
	12	支援を必要とする児童への取り出し授業を実施する。	実施	実施	実施
	13	特別支援教育を実施する。【支援教室実施、支援制度の活用】	実施	実施	実施
	14	特別支援教育職員研修を実施する。	実施	実施	実施
	15	教育委員会と連携して課題解決に取り組む。(SSWや課題解決チームの派遣要請)	実施	実施	実施
	16	家庭と連携を図り、登校支援アプローチプランの作成・活用を通して、不登校児童への具体的な対応に努める。【年間欠席日数30日以上的人数が前年度より減】	23 1増	28 5増	23 5減

・R4.1月末まで

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	12/14	14/16	16/16
A:90%以上達成している(15~16)			A
B:半数以上が達成している(8~14)	B	B	
C:達成したのは半数未満である(0~7)			

重点取組分野7 いじめへの対応

(1) 定期的なアンケートや保護者面談等で児童の状況を把握し、早期発見に努める。

			R元年度	R2年度	R3年度
職員	1	いじめの早期発見に努めた。 【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】	100	100	100
学校	2	児童へのいじめアンケートを実施する。【年2回以上】	実施	実施	実施
	3	保護者面談等で児童の状況を把握する。【年2回以上】	実施	実施	実施

(2) いじめ防止対策委員会を定期的に関きいじめに組織的に対応し心に寄り添った解決に努める。

			R元年度	R2年度	R3年度
職員	4	いじめの情報を学年で共有し、被害者の心に寄り添った解決に努めた。 【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】		100	100
学校	5	いじめ防止対策委員会を定期的に関開く。【年12回以上】	実施	実施	実施
	6	職員いじめ防止研修の実施【年1回以上】	実施	実施	実施
	7	職員傾聴研修の実施【年1回以上】	実施	実施	実施

(3) 児童支援専任を中心に、常に情報共有を図り、早期発見、早期解決に努める。

			R元年度	R2年度	R3年度
児童	8	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。 「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合の合計【90%以上】	今宿小 96	98	98
			横浜市 97		
職員	9	いじめの情報を児童支援専任と共有し、いじめの早期発見、早期対応に努めた。【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】		100	100
学校	10	いじめを積極的に認知し、教育委員会に報告するとともに、組織的・継続的に指導に当たる。【認知件数100%報告】	100% 報告	100% 報告	100% 報告
	11	いじめ防止対策委員会を週1回行う。	(実施)	(実施)	実施

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	8/8	10/10	11/11
A:90%以上達成している(10~11)	A	A	A
B:半数以上が達成している(6~9)			
C:達成したのは半数未満である(0~5)			

重点取組分野8 安全管理

(1)避難訓練を実施し、いざという時に素早く避難できるように指導する。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	1	いざという時に素早く避難できるように自分の役割を理解して避難訓練に取り組んだ。【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】		100
学校	2	実施	実施	実施

(2)児童の安全を守れるよう職員研修を実施する。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	3	児童の安全を守れるように意識してシャッターなどの職員研修に取り組んだ。【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】		97
学校	4	実施	実施	実施

(3)施設点検、安全点検を実施し、不備な点があったときには迅速な対応に努める。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	5	施設点検、安全点検を実施し不備があった時には迅速に対応した。【「取り組んだ・大体取り組んだ」の割合が教員90%以上】		100
学校	6	実施	実施	実施
	7	実施	実施	実施
	8	実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	5/5	8/8	8/8
A:90%以上達成している(8)	A	A	A
B:半数以上が達成している(4~7)			
C:達成したのは半数未満である(0~3)			

重点取組分野9 信頼される学校づくり

(1)学校広報(紙媒体、学校教育説明会、まち懇など)、学校評価を充実させる。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	1	信頼される学校づくりのために学校WEBページに学年や所属する部署の取組を更新したり、更新に協力したりした。	26	66	40
	2	児童や保護者、自分たちの評価をもとに、振り返りをし改善に努めていると思う。		90	97
学校	3	学校だよりから学校WEBページを見られるようにする。	新規	継続	継続
	4	学校教育目標実現に向けた取組を学校だよりで発信する。【年11回】	実施	実施	実施
	5	学校教育説明会等でICTを活用して分かりやすく伝える。	活用	活用	活用
	6	学校教育目標実現に向けた取組を学校HPで発信し、アクセス数を増やす。【毎月前年度以上】	7910	32618 前年度以上	20045 2022/2/10
	7	学校教育目標実現に向けた取組を積極的に発信する。(学校説明会や学級の様子の動画など)			実施

(2)児童の健全育成について、PTA,地域との協力体制を維持・発展させる。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	8	学校は、PTAや地域と連携して登下校の見守りに取り組んでいると思う。また、ホームページを活用したり関係機関と連携したりしてスマホの危険などの啓発活動に取り組んでいる。		79	97
学校	9	PTA実行委員会に管理職が参加する。【毎回】	継続	継続	継続
	10	PTAと協力して登校班を運営する。	継続	継続	継続
	11	PTAと協力して給食試食会を実施する。	継続		
	12	PTAと協力して広報誌を発行する。	継続		実施
	13	PTAと協力して玄関の見守りを実施する。	継続		
	14	保護者の協力を得て、読み聞かせを実施する。	継続		
	15	地域の児童指導委員と協力してジュニアボランティアを募集する。	継続		実施
	16	地域と協力して児童の登下校の安全を図る。	継続	継続	継続
	17	地域の青少年指導員、児童指導委員を児童活動にお招きする。	新規	継続	継続
	18	今宿地区社協、PTAと協力して「放課後自習室」を実施する。			新規
	19	主任児童委員や地域と協力して「おはやしクラブ」を実施する。			新規
	20	次年度に向けて「学校・地域コーディネーター」候補を選ぶ。			新規

(3)コンプライアンスを徹底し、市民から信頼される学校づくりに努める。

		R元年度	R2年度	R3年度	
職員	21	「子どもを悲しませないが行動基準」であることを理解し、不祥事を起こさないように取り組んだ。		97	100
学校	22	情報管理研修を実施する。	実施	実施	実施
校	23	不祥事防止研修を実施する。【11回以上】	実施	実施	実施

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
	16/17	13/15	18/20
A:90%以上達成している(18~20)	A		A
B:半数以上が達成している(10~17)		B	
C:達成したのは半数未満である(0~9)			

重点取組分野10 人材育成・組織運営(働き方改革)

(1)キャリアステージに応じた目標を設定する。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	1	自己観察書面談等において、自分のキャリアステージに応じた目標を設定することができた。【90%以上】		94
学校	2	実施	実施	実施

(2)校務のICT化、マニュアル化、情報共有化を促進し、働き方改革を推進する。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	3	学校は、校務のICT化、マニュアル化、情報共有化を促進し、働き方改革に取り組んでいる。【90%以上】		86
学校	4	実施	実施	実施
	5	実施	実施	実施
	6	実施	実施	実施
	7	新規	実施	実施
	8	実施	実施	実施
	9	実施	実施	実施
	10	実施	実施	実施

(3)運営委員会、校内教科領域推進係を効果的、効率的に運営し、校務の充実とスリム化を図る。

		R元年度	R2年度	R3年度
職員	11	運営委員会、教科領域係などの校務分掌において、自分の役割を理解し運営に取り組んだ。【90%以上】		89
学校	12	実施	実施	実施
	13	実施	実施	実施
	14	実施	実施	実施
	15	実施	実施	実施
	16	新規	実施	実施
	17	新規	実施	実施
	18			新規
	19			新規
	20			新規

目標を達成している項目数	R元年度	R2年度	R3年度
			18/20
A:90%以上達成している(18~20)			A
B:半数以上が達成している(10~17)			
C:達成したのは半数未満である(0~9)			